



NISHINASUNO
JAPAN

Service Above Self (超私の奉仕)

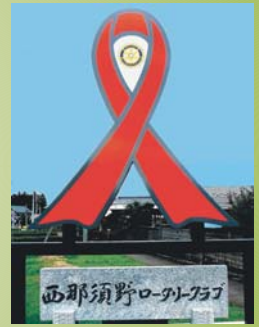
西那須野ロータリークラブ週報

Nishinasuno Rotary Club Weekly

● 小関 栄 西那須野ロータリークラブ会長テーマ ●

ロータリーを楽しもう！

第2398回(本年度13回)2023. 11. 21



RIテーマ

世界に希望を生み出そう

ゴードン R. マッキナリーRI会長



世界に希望を生み出そう

地区テーマ

ロータリーの基本はクラブです！
クラブを通じたロータリー生活を楽しみましょう！
言葉や口先だけでなく「行動」をもって誠実に
ロータリーを楽しみましょう！

三井 福次郎 2550地区ガバナー



開会宣言・点鐘 会長 小関 栄さん
司会 SAA 小中 一成さん
ロータリーソング (我らの生業)
お客様紹介 米山奨学金生ドン・グエン・コイ君

本日、例会を開会する前に八木沢浩司会員の御母堂様八木沢アイ子様享年81歳にてご逝去されました。

ここに謹んでお悔やみを申し上げます。

長させる「職業奉仕」、枝が地域の人々の暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献する「社会奉仕」・国際的なプロジェクトで、海外のパートナーとの共同事業により、相互理解を深め、世界平和を推進する「国際奉仕」・青少年や若い世代の人たちに、リーダーシップ能力を身に付けてもらう「青少年奉仕」、そして、一番大事な所、根にあたるのが、「クラブ奉仕」になります。どの様な大木でも根がしっかりとしていなければ、倒れてしまいます。クラブ会員がしっかりと繋がり楽しいクラブにしましょう。

会長の時間

会長代理 星野 仁さん

本日は小関会長が親戚のご葬儀の為例会を欠席されましたので、代理にて会長の時間代行を致しますので、よろしくお願いたします。

ロータリーの運動の実体験を表す言葉があります。「入りて学び、出でて奉仕せよ」見事にロータリー活動を表した言葉ですよ。

世の中に有る、あらゆる役に立つ職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、週に一度一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め、自己の改善を図り、その結果として奉仕の心が培われ育まれてゆきます。

この例会における一連の活動の事を親睦と呼び、会員同士の親睦をもって例会で高められた奉仕の心を持つ一人一人の会員がそれぞれの家庭、職場、地域社会に溶け込み奉仕活動を行う事、これがロータリアンと思います。

ロータリークラブを大きな木に例えますよね。太い幹が自社の仕事を成



12月5日 例会プログラム

12:30	開会宣言・点鐘	小関 栄会長
12:31	君が代・ロータリーソング (我らの生業)	
12:33	お客様紹介	小関 栄会長
12:34	会員誕生・配偶者誕生・結婚祝	寺崎貴志親睦委員長
12:37	皆出席・在籍年数祝	益子 修出席委員長
12:39	お食事の時間・乾杯	
12:55	会長の時間	小関 栄会長
13:05	理事会報告	太田 仁次期会長
13:10	委員会報告	各委員長
13:12	幹事報告	青山吉博幹事
13:16	会員卓話	
13:26	スマイルボックス報告	八木沢浩司スマイルボックス委員長
13:29	出席報告	益子 修出席委員長
13:30	閉会宣言点鐘	小関 栄会長

無断欠席は会費の無駄遣いです。欠席連絡は午前9時までに。

SAA 小中 一成 (携帯 090-3069-8870)

FAX 0287-48-7606 TEL 090-3069-8870

会長 小関 栄 幹事 青山 吉博
会報委員会 委員長 田原 直之・鈴木 仁志
井上 雅央

それとです、例会に来れば、財団、米山、寄付、結婚、誕生、集金ばかり、そんなことは御座いません。

米山は、国際奉仕、青少年奉仕、未来に対する奉仕、自分達の職業の持続のため、子供達の為。財団は、奨学生、地域社会に対する奉仕活動の原点

寄付は、困っていることに対する支援

ロータリアンの義務は

- ・例会に出席する事
- ・ロータリーの友を読む事
- ・会費を払う事

これだけです、義務を果たし楽しい西那須野ロータリークラブを楽しみましょう。

家族クリスマス会について

親睦奉仕委員長 寺崎 貴志さん

木枯らしの折、会員の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

早速ですが、コロナ禍後、4年ぶりの家族クリスマス会を下記の通り開催する運びとなりました。つきましては、出欠及びご家族様の人数及びお名前を記載の上、親睦奉仕委員長の寺崎までメールまたはLINEにてご返信ください。

また、家族クリスマス会の中でチャリティオークションを開催いたしますので、会員お一人一品以上の出品をお願いいたします。出品できない場合は、ご寄付2,000円をお願いいたします。

記

- ・日時：2023年12月19日(火)
- ・クリスマス会：18：30～20：30予定
- ・会員各位は例会：17：30 年次総会18：00になっております。
- ・場所：乃木温泉ホテル10階
スカイラウンジ「フォーシーズン」
- ・会費：3000円(会員のみ)
返信先 メール：takashit@terasaki-co.jp
LINEID：satakiteshiraka
PDF か写真(写メ)でお送りください。(ペーパーレス化にご協力ください)
- ※小学生以下のお子様にはクリスマスプレゼントがあります。名前横に学年をご記載ください。
- ・返信締め切り：12月9日(土)まで

ロータリー財団月間卓話

ロータリー財団委員長 郡司 義貴さん

こんにちは。ロータリー財団委員長の郡司です。本日はロータリー財団委員長としての卓話をさせていただきます。ロータリー財団の説明は先輩方におかれましては釈迦に説法であると存じます。仮に、説明等に間違いや不十分な点がございましたら訂正アドバイスなど頂けたらありがたいです。

ロータリー財団とは、非営利社団法人で、正式には国際ロータリーのロータリー財団といたします。構成員は国際ロータリー唯一で理事会によって管理されています。



ロータリー財団の使命は、ロータリー財団の標語である「世界で良いことをしよう」のもと、ロータリー会員が人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすを通じて、世界理解、平和を構築できるよう支援することです。最終目標たる世界平和の構築のため、その手段として4つ、①健康状態の改善②教育の提供③環境保全④貧困の是正、を挙げているのが特徴的です。

このような使命を達成すべく集められた財団の寄付金は、①年次基金②恒久基金③ポリオプラス基金・その他指定プロジェクト基金、の3つに分けられます。

そして、これら資金は種々の要件・手続きを経て、4つのプログラム(すなわち、地区補助金、グローバル補助金、ポリオプラス、ロータリー平和センター)の資金として活用されます。アフリカの農村に井戸を掘ることから、ラテンアメリカの子供たちに読み書きを教えることまで、世界中のロータリアンは財団資金を活用して懸命に「世界で良いことをしよう」とボランティア活動を行っています。

西那須野RCでは、地区補助金事業として今年度は児童養護施設の子供たちを那須どうぶつ王国へ招待いたしました。グローバル補助金事業としては2014～2015年度より今年度までに、台湾桃園RCと10回、パラニアックRCと1回、郡山安積RC及びRID2530地区との共同事業が2回あり、移動式献血及び法定伝染病スクリーニング専用車の寄贈、乳がん及び子宮頸がん巡回検診車の寄贈、などを行っています。

1917年に26ドル50セントの寄付を受けスタートして以来106年間で、ロータリー財団はその使命を達成すべくプロジェクトに総額40億ドル以上(約6000億円)の資金を提供してきました。西那須野RCでは、1971年以来370,829ドル(約5000万円)の資金を提供しております。

世界中で集められた約6000億円という大河の流れも一滴の雫から始まります。今月は「世界で良いことをしよう」のロータリー財団月間です。皆様の寄付を心よりお待ちしております。

時間がけっこう余ってしまったので、「世界で良いことをしよう」に関連する最近の私のお話をさせていただきます。

まずはこれからある童話を読みますので、情景を思い浮かべながらお聞きください。

年の瀬も押し迫った大晦日の夜、小さな少女が一人、寒空の下でマッチを売っていた。マッチが

クラブ奉仕委員長 益子 浩さん

横組みP4～P5

RI会長メッセージ：ロータリー平和センターの記事です。

プログラム開始以来、平和センターは1,700人を超える平和フェローを輩出。フェローはより平和な世界を築くために140ヵ国以上で活躍し、次々と世界に希望が生み出されています。

平和とは粘り強く実践していくものであり、希望が根付くための土壌です。しかし、あらゆる旅路と同じように、一歩ずつ進んでいく必要があります。この一歩を、共に歩んで生きましよう。と伝えています。

組みP8～P17

グローバル補助金事業申請ガイド

ロータリーの7つの重点分野において、測定可能で持続可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援するものです。支援できる活動には・人道的プロジェクト・奨学金：大学院レベルの留学・職業訓練チーム（VTT）専門職業に関係する研修を提供するチームや研修を受けるチームを海外に派遣

昨年度のグローバル補助金の承認状況：世界では、人道的プロジェクト82.5%

奨学金15.8%に対し日本では、人道的プロジェクト47.5%奨学金51.3%この違いを会員・クラブ・地区でもう一度検討する必要があるのでは無いでしょうか？

横組みP20～P27

トレーニングからラーニングへ 見直される学びのあり方

トレーニングには、二つの大きなポイントがあって、一つは知識・情報の豊かな人が、そうでない人にしっかり指導をする。もう一つは教える人が聞く人に対して、その心にインスパイアする事です。短い言葉にも大きな力があり、自分の行動や思想に大きな影響を与えることがあるという意味で、例えば研修セミナーでいうと、講師が知識・情報をしっかりと伝えること、そして学ぶ側をしっかりとインスパイアする力。この2点が重要です。

これに対して、ラーニングというのは、学ぶ側の気付きが優先です。お互いの情報交換を通して、まさにExchange Ideasをしている。そして結局トレーニングもラーニングもロータリーの目標であるTake Actionにつながっていきますから、その両方が学びの場で行われる一つの形が理想かなと。トレーニングからラーニングに変わったとなると、いかにも、もうトレーニングが古臭くて駄目だ、という発想になるかもしれない。そうでなくて、トレーニングにはトレーニングのいいところもあるから、それとラーニングも併用していけば、より学習が効果を上

売れなければ父親にぶたれるので、すべてを売り切るまでは家には帰れない。しかし、街ゆく人々は、年の瀬の慌ただしさから少女には目もくれず、目の前を通り過ぎていくばかりだった。

夜も更け、少女は少しでも暖まろうとマッチに火を付けた。マッチの炎と共に、暖かいストーブや七面鳥などのごちそう、飾られたクリスマスツリーなどの幻影が一つ一つと現れ、炎が消えると同時に幻影も消えるという不思議な体験をした。

天を向くと流れ星が流れ、少女は可愛がってくれた祖母が「流れ星は誰かの命が消えようとしている象徴なのだ」と言ったことを思い出した。次のマッチをすると、その祖母の幻影が現れた。マッチの炎が消えると祖母も消えてしまうことを恐れた少女は、慌てて持っていたマッチ全てに火を付けた。祖母の姿は明るい光に包まれ、少女を優しく抱きしめながら天国へと昇っていった。

新しい年の朝、少女はマッチの燃えかすを抱えて幸せそうに微笑みながら死んでいた。

みなさんご存知の通り、童話マッチ売りの少女です。私は6歳の娘に絵本をよく読んであげのですが、読み終えた後に毎回絵本内容について質問攻めに遭います。娘から「どうして誰も助けてあげないの」と質問される気がして、またその的確な答えを言えない気がして、実はマッチ売りの少女をまだ読んであげていません。まさか、「作り話だから」とか「みんな忙しくて色々大変なんだよ」、なんて答えられませんし。色々考えさせられます。

そして、少女を見て見ぬふりした大人達と寄付やボランティア活動に対して躊躇する自分が重なることに気づきました。この絵本の悲しい結末は、少女の周りの大人たちが「世界で良いことをし」なかった結果であります。

この本を読んで、少女に手を差し伸べる必要は無いと考える人はいない、と信じております。アンデルセンによって1845年に発表されたこの童話は、多少アレンジはあるものの、約180年経った現在、そして今後も世界中で大人から子供たちへ語り継がれるものと思います。この世界中での共感、人種や宗教などの垣根を超えた人間だからこそ得られるものであり、また、「世界で良いことをしよう」のロータリー財団の精神に沿うメッセージが込められているものなのだと考えます。

日本を含め世界には過酷な社会情勢や劣悪な家庭環境により、マッチ売りの少女のような境遇の人々がたくさんおります。みなさん、世界で良いことをし」て自己実現しませんか。

今月はロータリー財団月間です。皆様の寄付を心よりお待ちしております。

以上にて卓話を終わります。ご清聴ありがとうございました。

げる、ということ。知っている／知らないというのが研修の最終結論ではない。その学びからどう次の行動に進めていくかという、主体的な意欲が学習者に生まれるようにしないといけない。ファシリテーション、知恵、学び、気付きなどといったラーニングの場の作り込みというのが、本当にできるのだろうか気がなります。

そのためには、やっぱり一人一人の会員が自発的に学ぼうと思わせるようなクラブの雰囲気づくりがポイントだと思います。ロータリーもまさに不意流行で、変わらない中核的価値観があります。でもその中身は変わってきた。リーダーシップのあり方も変わってきた。

つまり骨格は変わらないけれども、中身はその時代に合わせて、実際は変わってきていると思います。そうでないと生き残れません。ロータリーはリーダーの集まりとされていますから、リーダーからリーダーシップを学ぶと考えれば、リーダーシップの強化につながるのかなと思います。論語の言葉で「学びて思わざれば則ち罔し、思いて学ばざれば則ちあやうし」。

つまり「教わるばかりで、自分で考えることが少ないと力はつかない。自分で考えてばかりで、人に学ばないようだと、考えが偏るので危険」。まさにトレーニングとラーニングのはなしです。

横組みP45

ロータリー財団管理委員長からのメッセージ
ロータリーがもたらす大きなインパクト
ロータリー財団を祝う今月、改めてロータリーが世界有数の人道的団体であるという事実を振り返りましょう。私たちの活動は、他と一線を画しています。世界中の4万8,000人以上のロータリークラブとローターアクトクラブが、各地で活動しています。責任を持って寄付金を管理し、効率的なプロジェクトの実施に励み、常に持続可能なソリューションを目指しています。

縦組みP9～P12

この人を訪ねて 嘉納治郎右衛門 由緒ある名跡を久しぶりに踏襲し菊正宗に新風を次々吹き込む

燗酒は強いけど冷酒に弱いイメージの脱却として、高級ラインアップ「百黙」を立ち上げ、家庭用の日常に楽しめる酒として新たに

出席報告		出席委員長 益子 修さん	
11月21日 第2398回(本年度第13回) 会員数47名			
出席	26名	前々回10月24日	2396回例会
欠席	21名	欠席	19名
出席免除者	0名	M・U	10名
出席率	55.30%	修正出席率	80.85%

画期的な「ギンパック」を発売した。「裾野を広げるためには、ワインと同じように、高級なプレミアム日本酒と日常で楽しめるデーリー酒の両方の存在が必要である。」と考えていたそうでもあります。今の時代に満足するだけでなく、常に社会が必要としているニーズを敏感に察知して行動に移すことが商売の基本かと思ひ参考になりました。

縦組みP14～P15

今月の俳壇・歌壇・柳壇 柳壇 暇なときは是非一読願います。心が豊になると思います。

スマイルボックス報告

委員長 八木沢浩司さん

- 関谷 直人さん 5代遡っての代行会長、記憶では初めての例会です。
- 富田 勸さん 今日は天気がよいですね。
- 佐藤 正一さん 益子修さんおめでとうございませう。栃木県高圧ガス保安大会の席上 高圧ガス保安功労賞受賞
- 福本 光夫さん・海外姉妹クラブ合同例会並びに関連行事大変お疲れ様でした。
・アジア学院収穫祭の日、中学生ボランティア事業お疲れ様でした。
・桃園R C 創立62周年記念式典参加の皆様お疲れ様でした。
・保育専門誌の取材がありました。
・地区大会欠席おわび。
・養徳園・氏家養護園・那須動物王国招待事業お疲れ様でした。
- 星野 仁さん 久しぶりの会長代理皆様宜しくお祈りします。
- 小中 一成さん 父の葬儀にあたり多くの香典頂きました。ありがとうございました。
- 月井 美好さん 青山さん帰れマNDER見ました。
- 猪瀬 康雄さん 益子修さん 令和5年度高圧ガス保安功労者知事表彰おめでとうございませう。
- 益子 修さん 昨日知事表彰を受けました。ありがとうございます。
- 磯 栄二さん 花束ありがとうございました。

欠席者		M・U	
榎本 建司さん	須田 秀和さん	福本 光夫さん	
橋本 貴行さん	鈴木 明裕さん	寺崎 貴志さん	
井上 雅央さん	鈴木 大介さん	梅村 悟志さん	
石田 信行さん	鈴木 仁志さん	青山 吉博さん	
小関 栄さん	鄒 艶華さん	小関 栄さん	
久保 世一さん	高橋 正晃さん	郡司 義貴さん	
松本 善明さん	寺崎 貴志さん	猪瀬 康雄さん	
森 英夫さん	渡邊 将宏さん	益子 浩さん	
大原 栄さん	八木沢浩司さん	太田 仁さん	
齋藤 幸夫さん	柳場美枝子さん	佐藤 正一さん	
関谷 暢之さん			

事務所 いたう家 那須塩原市扇町7-12 例会日 火曜日 12:30 例会場 いたう家 那須塩原市扇町7-12
☎0287-36-0028 FAX36-2854 ☎0287-36-0028

※11月のロータリーレート 1ドル149円